

2024.7.7

公民連携セミナー（第1回） 開催報告

浪江町市街地整備課F-REI立地室

セミナー開催の目的

浪江国際研究学園都市形成に向けて、今後、浪江駅西側地区等において公民連携でのまちづくりの推進が必要となることから、町内のパブリックマインドを高め、公民連携推進に向けた機運醸成を図ることを目的とする。第1回は、公民連携に関して専門的知識を持つ有識者を講師として招き、町民及び町内事業者向けのセミナーを開催する。

目標

- ▶ セミナーを通じて参加者の公民連携に関する知識向上を図る。
- ▶ 公民連携からオープンイノベーションやリビングラボなどの共創手法を身に着けることで、地域経営の主体側の関係者を育成する。

公民連携とは

行政と民間事業者が協働で事業を実施したり、サービスを提供すること。民間企業等の多様なアイデアや技術、ノウハウを取り入れることにより、歴史や文化など町の既存の価値を更に向上させるとともにビジネスの創出など新たな町の価値を創造する、成長を続ける町にしていきたい。

セミナー参加者の内訳

▶年齢別（合計：20人）



▶所属別（合計：20人）



セミナー概要①

開会あいさつ／浪江町副町長 成井 祥

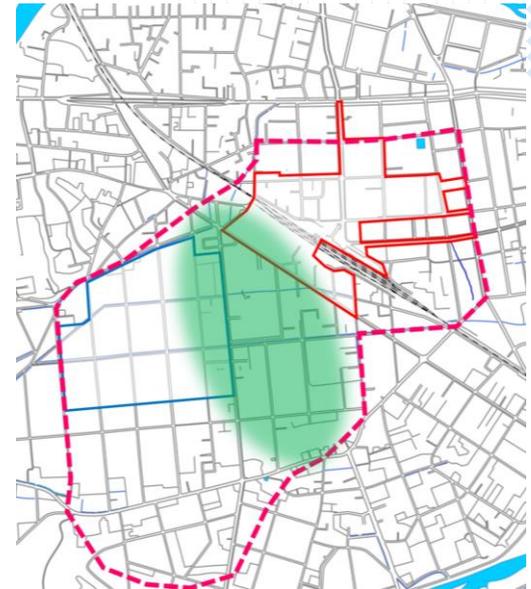
- ▶ 震災から13年が経過し、復興の歩みが着実に進んでいる一方で、課題はいまだ山積している。町の約8割は、帰還困難区域として残っている。
- ▶ 浪江水素タウン構想や浪江駅前開発など、魅力ある新たなまちづくりを展開することで一人でも多くの方が浪江町に戻ってきたり、新たに浪江町に住みはじめたりできるよう取り組んでいる。
- ▶ 昨年4月に福島国際研究教育機構（F-REI）が浪江町に立地決定したことを受け、浪江国際研究学園都市構想を策定。この構想を具現化し持続可能なものとしていくためには、行政だけではなく、皆さんとともに取り組みを進めることが必要であることから、本セミナーで公民連携への知識向上をしっかりと進めていきたい。



セミナー概要②

浪江町からの報告／浪江町職員

- ▶令和6年3月に浪江国際研究学園都市構想を策定。本構想の中でF-REI立地を踏まえた取り組みの方向性を整理している。
- ▶今回、みどり色の範囲を「浪江駅西側地区公民連携まちづくりエリア」と位置づけ検討を開始。本エリアでの公共による先導的整備等については、今後さまざまな検討を行う必要があるが、町が基盤整備を行い、民間が土地利用施設建設運営を行う公民連携手法を想定。
- ▶持続的な町の財政運営上、公共施設を増やすのは困難。また、徐々に民間投資を増やしていく必要があること、地区の価値・魅力の向上に継続的に取り組むためには、行政だけでは限界があることなどから公民連携で進めていきたい。
- ▶浪江駅西側地区公民連携まちづくり事業については、事業化のための財源確保ができていないため、公民連携で作成した事業計画を元に国等と協議していくことが必要。



セミナー概要③

講演／(株)新産業文化創出研究所 所長 廣常 啓一
演題／町内外の地域経営資源を活用し、地域課題解決
や地域経営事業創出の主体になろう!!

- ▶地域の困りごと、地域の課題は地域の方が一番理解しているが、地域を持続的に経営していくための経営資源については気づいていないということが多くある。
- ▶地域課題解決は、地域のニーズであり市場である。その市場や地域に参入する者がいないのであれば、それは潜在的な市場。自らも困り、地域課題である市場ならば、地域の事業主体として事業化し、地域経営やコミュニティビジネスに参画していくことが望ましい。
- ▶地域課題解決や地域のサービスは、行政サービスであり、地域の住民や事業者は受益者だった。しかし、行政サービスには限界があり、持続的な地域経営には結びつかない。持続的に経営するためには、継続的に技術を開発し高め、人材を発掘・育成し、事業化する資金や用地を確保して、他地域にも展開できれば理想的。



セミナー概要③

講演／(株)新産業文化創出研究所 所長 廣常 啓一
演題／町内外の地域経営資源を活用し、地域課題解決
や地域経営事業創出の主体になろう!!

- ▶浪江町の経営資源は、移住者も含む住民や事業者の協力、協働、実証の仕組みかもしれないし、新たにできるF-REIの機能や人材、地域の用地、あるいは、公的な補助金の活用かもしれない。
- ▶地域課題と地域経営資源を可視化する。そして事業化のためのボトルネックや不足する技術や人、事業者や資金などのリソースを、どのように地域に誘致するのか、また、育成や開発するのかを考える。その不足するリソースを誘致や育成、開発するためにも、浪江町の経営資源を賢く活用する必要がある。



質疑応答①

▶ご当地グルメをテーマにして、町おこしの起爆剤になったような事例はあるか。

回答／食はいろいろな方々に接触する機会が多いコンテンツだが、直球でいくと単純に特産品作りで終わってしまうので、潜在的なものを見つけるべきだと思う。たとえば頭が良くなる焼きそばを開発して、頭が良くなるためのエビデンスが取れる、とか、イベントで出店する際に、普通のキッチンカーではなく次世代型モビリティを使用するなど、焼きそばを作るために世界中の英知が入っているというくらい振り切れたらおもしろいと思う。

▶移住者など人的リソースは、誰でも彼でも受け入れてよいのか悩んでいる。その見極めについてお聞きしたい。

回答／たとえばSNSの批判とか誹謗中傷とかに対して、ブロックしたり消すことができるが、まずはゆっくり相手と話をする。話をすることでその批判を減らしていくことができる。「大海細流を選ばず」という言葉があるが、大きな海になろうと思ったら流れ込む川をせき止めてはいけないという意味。排除するとか、ブロックする、選ぶというのはかなり難しい行為だと思うので、入ってくる人をどのように仲間にするかということにエネルギーを注いだ方がいいと思う。

質疑応答②

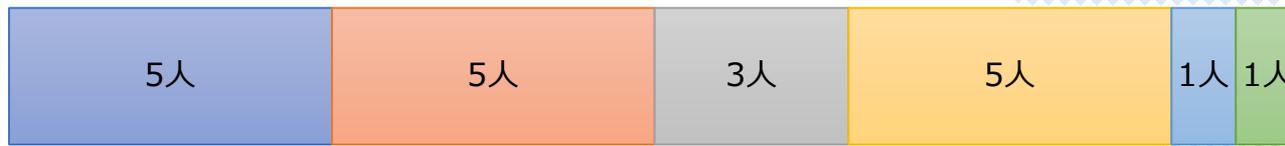
▶チラシと実際のセミナーの内容が合っていないように感じた。内容をもっとわかりやすく提示してほしい。

回答／このチラシとの今日の講話の関係については、1回目のセミナーであったので、今後市民が連携したまちづくりを展開していきたいということで、幅広い市民連携の知見や経験をお持ちの廣常先生にお話をいただいた。ご指摘は今後に生かしていきたい。



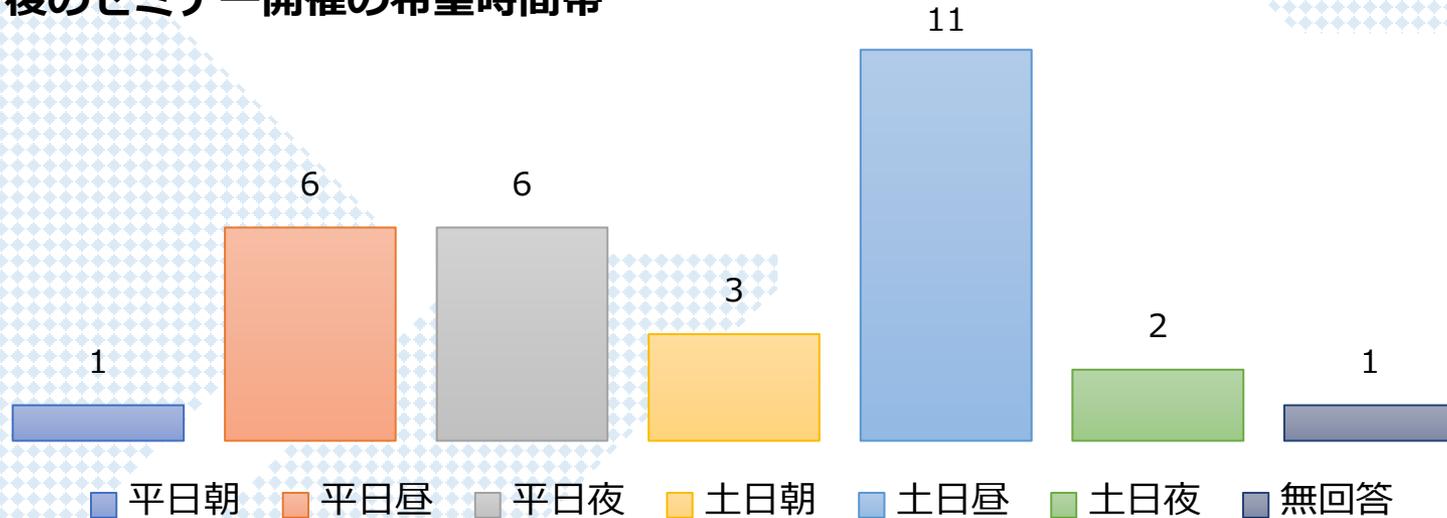
アンケート結果①

▶セミナー開催を知ったきっかけ



■ 広報紙 ■ チラシ ■ 町ホームページ ■ 家族、知人 ■ その他 ■ 無回答

▶今後のセミナー開催の希望時間帯



■ 平日朝 ■ 平日昼 ■ 平日夜 ■ 土日朝 ■ 土日昼 ■ 土日夜 ■ 無回答

アンケート結果②

▶セミナーの満足度



■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない



▶少々内容が重かった面と、コアな質疑で良かった面と両面あるように感じた。広く浅くでもよいので多くの町民に意識をもってもらう工夫もあって良いかも知れません。▶第一回目だからでしょうか。まだ現実味がありませんでした。▶プラットフォームの事例が具体的で分かりやすく、参考になった。やきそばを事例としたテーマの考え方が面白かった。▶公民連携のイメージがわかりやすい内容でした。▶大変参考になりました。産官学の連携は大事だと思うのですが、今後異なる団体の交流の場を作りたいと思います。▶参考地域事例が多く、色々な分野の産業創出について知識が深まった。▶前提のギロンをもう少しききたかった。▶公民連携に関する事例を知れたことがよかったです。公民連携について考える良いきっかけとなりました。▶専門的なお話も分かりやすいワードに言い換えて解説していただき、理解しやすかった。▶廣常先生の事例説明と質問者への丁寧な回答が大変すばらしく、大変参考になった。

アンケート結果③

▶今後のセミナーへの期待度



■ 期待 ■ やや期待 ■ どちらともいえない

▶テーマのみつけかた、エッジのきかせかたを議論する場があるとよい。アイデア募集をしている途中にできるとよい。▶今後は具体的な業者、官民、町民の希望を聞いて次のセミナーに参加したいです。誰が何をしているのかを知らずには具体的な話し合いは難しいと思うので。▶実際の浪江町をモデルに例えばの事例でシュミレーションするようなテーマなども面白いと思います。▶質疑応答の時間をもう少し長く取って欲しい。▶双葉郡内で現在共創をしようとしているプレイヤーなどの生の声などをきかしてもらったり、セッションした方が、より親和性が高いかも？今回は関東の方だったので、どこかこの地域にかんして他人事さを感じてしまう。▶地域の中のキーマン。企業の方にもっと参加してほしい。▶廣常先生が事例紹介して下さった住民の意見を取りまとめ、政策反映する意思合意形成の過程がまた聞きたい。

